

九州大学記録資料館所蔵『戦時資源資料』

西尾, 典子
九州大学大学院

<https://doi.org/10.15017/13891>

出版情報：エネルギー史研究：石炭を中心として. 24, pp.83-97, 2009-03-19. 九州大学附属図書館付
設記録資料館産業経済資料部門
バージョン：
権利関係：

【資料紹介】九州大学記録資料館所蔵『戦時資源資料』

西尾典子

本稿では、九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済資料部門（以下、記録資料館と略す）に所蔵されている、『戦時資源資料』（以下、『資料』と略す）の紹介を行う¹。本資料群は、もともと古書店で販売されていたものを三井物産が購入したものであり、その後、記録資料館に寄贈された経緯をもつものである。そのため、三井系の資料は三井文庫に所蔵されており、記録資料館には所蔵されていない。

この資料群を分析するにあたり、次の二つの大枠を設けた。「一、『戦時資源資料』にみる資源産出地別の分類」、「二、資料制作者別の分類」である。一つ目の項目では、資料に出てくる原産地域別に産出される資源の特徴を分析する。次に、二つ目の項目では、資料を作成した機関や企業別に分類し、それぞれがどのような地域や資源に関心を払っていたのかについて分析する。

一、『戦時資源資料』にみる資源産出地別の分類

『資料』から確認できる各資源の産出地を分類すると、大きく以下の二つに分かれる。「一・一、中国大陸の資源」、「一・二、南方諸地域の資源」である。前者の中国大陸に関しては、日本の大陸進出時期の関係上、昭和一桁台という比較的早い段階から資料が残されている。後者は、一九一四年以降日本の委任統治領となった南洋諸地域と、太平洋戦争期序盤に占領に成功したいわゆる南方資源地帯を含む地域を指す。日本が同地の開発に本格的に着手するのが、昭和十五年九月以降に当たるため、それ以降の資料が多数残存している。

一・一、中国大陸の資源

ここでは、『資料』にみられる資源のうち、主に中国大陸を中心に産出されたものについてみていく。当時、中国大陸には満洲や蒙古と呼ばれる地域もあったが、それらの地域から産出された資源についても、こ

のグループに分類している。

当時の中国大陸の資源に関しては、石炭にかかわるものが最も豊富である。石炭の産出地別では、華東地方の山東省や、華北地方（当時北支地方と呼ばれていた地域や山西省を含む地域）のものが多く、華中地方の河南省からも産出されていた。当時、中国東北部には、撫順を中心とする炭鉱都市が存在したが、『資料』には中国東北部の石炭に関して記述したものは少ない。石炭の産出が多い関係から、製鉄業における中国産出資源の依存度も大きかった²。

石炭以外の資源のうち金属について地域別にみると次のようになっていいる。東北地方では、砂鉄や銷土が産出されており、このうち砂鉄については増産計画が考案されていた³。華北地方の河北省では金鉱が見つかっており、華東地方の山東省からは銀、銅、鉛、砂金、西南地方の雲南省で銅が産出されていた。

上記以外の鉄や非鉄金属類以外については、アンチモンや錫、タングステンに関する資料が存在している。アンチモンは、華南地方の湖南省が主たる産出地であり、同じく華南地方の広東省、西南地方の貴州省にも鉱山が存在した。また、非常に硬度が高いという特質から、砲弾や徹甲弾などという兵器の弾芯や切削用具として使用用途の広い希少金属のタングステンも中国大陸から産出されていた。

一・二・南方諸地域の資源

このグループでは、『資料』にみられる資源のうち、南方で産出されたものについて扱う。南方諸地域とは、領域として、南部仏領印度支那を中心とする南方資源地域や委任統治領であった南洋諸島を指す⁴。

南方諸地域に関する『資料』の特徴は、非鉄金属についての文書が多いことである。例えば、亜鉛やアルミニウムの原料となるアルミナ（酸化アルミニウム）を含有するボーキサイト、いわゆるレアメタルと呼ばれるクロム、マンガン、ニッケルなどの資源に関して書かれた資料が多い。これらの非鉄金属は、鉄と組み合わせることにより様々な合金を作ることが可能であり、太平洋戦争を戦う上で必要となる航空機や兵器などの原材料として使用された。

ここで、南方諸地域で産出される非鉄金属を混ぜることにより作られた合金とその用途について触れておく。『資料』をみる限り、この地域の資源は特に航空資材であるアルミニウム合金の原料に関係するものが多かったようである。仏領印度支那地域には、ボーキサイト鉱床が多く分布していた⁶。ボーキサイトから不純物を取り除くことで卑金属であるアルミニウムは精錬される。このアルミニウムの特徴は、軽量という点にあり、主に航空資材として重用されていた。しかし、単体では硬度が低いため、銅、マグネシウム、マンガン、亜鉛、ニッケルなどと合金して強度を増していた。このアルミニウム合金を作る上で必要な非鉄金属も、この地域で多く産出されていた。そのため、アルミニウムの精錬工場は非鉄金属のよく採れる地域に建設された⁷。また、アルミニウムを作る過程では電力を多く必要とするため、発電に必要な水力資源の確保にも注意が払われていた。

他に、この地域で採取された資源が関係する合金としては、ステンレス鋼が挙げられる。ステンレスは、鉄にクロム、ニッケルを含ませて精錬した鉄合金である。ステンレスには、クロムがもつ耐蝕性の強さが利用されており、錆びにくいという特徴がある。そのため、この合金は、

重工業製品の資材として多く用いられていた。

二．資料作成担当別

本資料群を資料制作者別に分類すると、大きく以下の三つの区分に分けることができる。「二一．省庁またはそれに準ずる国家機関」、「二二．国策企業」、「二三．民間企業」である。当該期における国策企業や民間企業に関しては、詳しい研究があるため、ここでは『資料』に登場する企業名の紹介に留めておく。

二一．省庁またはそれに準ずる国家機関

『資料』に収容されているもののうち、省庁又はそれに準ずる国家機関が関わっている資料としては、量の多い順に興亜院、仏印資源調査団、陸軍特殊機関、大東亜省、外務省、企画院作成のものが挙げられる。これらの国家機関では、中国大陆の資源に関する資料は、興亜院、陸軍特殊機関、大東亜省総務局調査課が作成しており、南方諸地域の資源に関するものは、仏印資源調査団や外務省南洋局が作成している。

中国大陆の資源について最も多くの資料を残している興亜院は、中国での戦線拡大に伴い占領地が増加したため、当該地の政務、開発事業を統一指揮する目的で昭和十三年に設立された機関である。¹⁰ 興亜院は、現地の華北、満疆、華中、厦門に連絡部を置き、占領地の開発事業を進めた。記録資料館に所蔵されている『資料』は、華北連絡部と満疆連絡部の作成したものが中心である。興亜院は、昭和十七年十一月の省庁改編で、外務省東亜局、同南洋局、拓務省、対滿事務局と共に大東亜省に統

合された。

南方諸地域の資源に関して資料を多く残している仏印資源調査団は、昭和十六年九月に組織され、同年十一月、仏印へ派遣された後、昭和十七年六月まで当該地域の調査に当たった。¹¹ 調査団の主な目的は、南方資源地域の資源開発を進めることで、長期化する日中戦争とアメリカの対日経済圧迫による物資不足を払拭することにあった。調査団は、農業、林業、鉱業などの専門家を官庁、民間企業から集めて組織されていた。¹²

二二．国策企業（特殊会社）

国策企業の文書としては、南滿洲鉄道株式会社、北支那開発株式会社、台湾拓殖株式会社が作成した資料が残されている。

中国大陆の資源については、南滿洲鉄道株式会社と北支那開発株式会社の作成した資料が多い。前者は、日露戦争後の明治三十九年に設立され、太平洋戦争が終結する昭和二十年まで、鉄道事業を中心として中国東北部の開発に当たった。¹³ 後者は、華北地方や華南地方の炭鉱や金属鉱山の開発にあたったことが『資料』から読み取れる。¹⁴

南方諸地域の資源については、台湾拓殖株式会社の作成した資料が残されている。¹⁵ 台湾拓殖株式会社は、台湾の工業化や南支、南洋地域の開発を進めることを目的として設立された国策企業であった。南方諸地域の資源については、同企業内の印度支那室が担当していた。

二三．民間企業

民間企業の資料については、財閥系のものでは、三菱工業、同鉱業株式会社のものや、古川電気工業株式会社の作成した資料が所蔵されてい

る。財閥系以外の企業が作成した資料については、日本製鉄株式会社、日本鉱業株式会社、日鉄鉱業株式会社などの鉄鋼生産にかかわった企業のものが多い。

注

- 1 尚、当資料館はホームページ (http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/libint/manu_be/) も設置している。
- 2 大東亜省総務局調査課「本邦製鉄業の支那資源依存度に関する資料（昭和十八年四月）」（九州大学附属図書館付設記録資料館産業経済部門所蔵『戦時資源資料』請求番号・二二、七六）。
- 3 「東北地方砂鉄緊急増産二関スル調査（昭和十八年九月）」（同上『戦時資源資料』請求番号・一四六）。
- 4 日本の委任統治下にあった南洋諸島に関する研究については、千住一「南洋諸島」日本植民地研究会編『日本植民地研究の現状と課題』（アテネ社、二〇〇八年）が詳しい。
- 5 南方資源地域の石油に関する資料が少ないことも、この『資料』の特徴の一つである。太平洋戦争期の石油問題については、三輪宗弘『太平洋洋線と石油―戦略物資の軍事と経済―』（日本経済評論社、二〇〇四）が詳しい。
- 6 ポーキサイト鉱床は、熱帯雨林地域で発見されることが多く、仏領印度支那地域は地理的にみても鉱床が存在する条件に適していた。
日本軽金属所属広川稔「仏印ローソン地方ポーキサイト鉱床開発指
導報告二関スル件」（前掲『戦時資源資料』請求番号・一三八）、台湾
- 7 日本経済連盟会「アルミニウム工業南方立地二関スル意見（昭和十七年六月）」（同上『戦時資源資料』請求番号・四二）。
- 8 高橋本枝「大東亜南方圏内に於けるアルミニウム原鉱分布と水力資源（昭和十七年七月）」（同上『戦時資源資料』請求番号・四一）。
- 9 向山幹夫「含ニッケル・クロム鉄鋼の処理に関する研究（Ⅰ）（昭和十八年一月二十五日）」（同上『戦時資源資料』請求番号・六三）、同「含ニッケル・クロム鉄鋼の処理に関する研究（Ⅱ）（昭和十八年二月二十五日）クロム分離の研究」（同上『戦時資源資料』請求番号・六二）、同「含ニッケルクロム鉄鉱ト之ガ処置二関スル基本方針ヘノ参考（昭和十八年一月）」（同上『戦時資源資料』請求番号・一九六）。
- 10 興亜院に関する研究は、本庄比佐子、内山雅生、久保亨編『興亜院と戦時中国調査』（岩波書店、二〇〇二年）が詳しい。
- 11 仏印進駐に関係する研究は、森茂樹「第二次近衛内閣初期における対外政策決定過程―北部仏印進駐の再検討―」（一橋大学一橋学会一橋論叢編集所編『一橋論叢』一一四―二、一九九五）、立川京一「南部仏印進駐とフランス」（上智大学国際関係研究所『国際学論集』四一、一九九八年）が詳しい。また、南洋諸島での日系企業活動については、柴田善雅『南洋日系栽培会社の時代』（日本経済評論社、二〇〇五年）が詳しい。
- 12 仏印資源調査団に組織された人物とその所属は、「仏印資源調査団名簿（昭和十六年九月）」（前掲『戦時資源資料』請求番号・二二二）

に記載されている。この名簿によると、調査団には、総務部、農林班（計六班）、水産班、監業班、鋳業班（計五班、このうち非鉄金属班は第二班）、水力電気班があり、団員数は一五一人に上っていた。団員は、外務省、企画院、商工省、拓務省、台湾総督府などの関係省庁や、三井物産、王子製紙、古河鋳業、三菱鋳業、昭和電工などの企業から集められていた。

13 南満洲鉄道株式会社に関する研究は、松村高夫、柳沢遊、江田憲治編『満鉄の調査と研究―その「神話」と実像―』（青木書店、二〇〇八年）が詳しい。また、社史として、満鉄会編『満鉄四十年史』（吉川弘文館、二〇〇七年）も出版されている。

14 北支那開発株式会社については、中村隆英「北支那開発株式会社
の成立」（東京大学大学院総合文化研究科編『社会科学紀要』
三〇、一九八〇年）、柴田善雅「北支那開発株式会社の晩期事業と敗戦
処理」（大東文化大学東洋研究所編『東洋研究』一四二、二〇〇一年）
が詳しい。

15 台湾拓殖株式会社印度支那室「第一仏領印度支那鋳業概観」（同上）戦
時資源資料」請求番号・七九）台湾拓殖株式会社に関する研究は、三
日月直之『台湾拓殖会社とその時代…1936・1946』（葦書房、
一九九三年）、柴田善雅「台湾拓殖株式会社の南方事業活動」（日本植
民地研究会編『日本植民地研究』二〇、二〇〇八年）がある。

宛 名	注 記 (摘要 形態)	形 態	数量	西暦
	200万分の1	地図	1	
		地図・袋 (中に綴)	1	
	拓務省・南洋開発株式会社の便箋	綴	1	1941
		地図	1	
		綴	1	1940
	地図類含	綴・地図	13	1943
		綴	1	1945
		綴	1	1940
		綴	1	1940
	鉱山概要	綴	1	
興亜院華北連絡部山口六平		綴	1	1939
興亜院華北連絡部長官喜多誠一		綴	1	
		綴・地図	3	1939
	興技調査資料第40号	綴	1	1940
	興技調査資料第41号	綴	1	1940
		綴	1	1939
		綴	1	1937
		綴	1	1942
	化学班	綴	1	1940
		綴	1	1943
		綴	1	1941
	附表付	綴	2	1943
		綴 (図面込)	1	1925
		綴	1	1941
	企1国第4号第1部第3課	綴	1	1943
		綴	1	1940
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	南満鉄社報原稿用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	状	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
	興亜院用紙	綴	1	
		綴	1	
		地図	1	1939
	支調第32号	綴	1	1937
	南洋年鑑第3回版別刷	綴	1	
	中国地図付	綴・地図	2	
	経済連盟講演第99号	綴	1	1942
		綴	1	1942
	「海運」掲載予定	綴	1	1942
	第3案、第4案	綴	1	1935
		綴	1	1935
		綴	1	
		綴	1	1943
		綴	1	1941
	パンフレット	綴	1	1936
		綴	1	
	北支炭質適性調査資料1	綴	1	1939
	正豊炭鉱 第1報	綴	1	1940
	籌陽炭鉱 (第1報)	綴	1	1940

資料名	請求番号	タイトル	作成年月日	作成者
戦時資源資料	1	北支炭田露頭分布図	[戦時期]	興亜院華北連絡部経済第二局鉱山室
戦時資源資料	2	山東礮土頁岩日華合同調査報告書附図(地形図十七部)	[戦時期]	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	3	ヤップ島含ニッケル鉄鋼ノ開発ニ関スル研究	昭和16年	
戦時資源資料	4	南洋群島鉱物資源	[戦時期]	
戦時資源資料	5	河北省臨榆県鶏冠山金鉱南天門重晶石調査概報	昭和15年6月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	6	北支那開発株式会社調査局調査員履歴調	昭和18年3月	北支那開発株式会社調査局
戦時資源資料	7	自昭和十六年度至昭和二十年度山西各炭礦出炭計画概要	昭和20年	山西炭礦籌備処
戦時資源資料	8	山東礮土礮保留地区新規設定ニ関スル意見書	昭和15年7月	興亜院華北連絡部経済第二局鉱山室
戦時資源資料	9	淄川炭田附近礮土頁岩調査概報	昭和15年6月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	10	[門頭溝中英炭礦調査]	[戦時期]	
戦時資源資料	11	[アルミニウム株式会社礮土鉱石ニ関スル件]	昭和14年6月	北支礮土鉱業所久保地理善
戦時資源資料	12	[支那鉱物資源調査ノ件]	[戦時期]	南満洲鉄道株式会社調査部長
戦時資源資料	13	北支石炭資源一覽図説明書	昭和14年3月	興亜院華北連絡部篠崎彦二
戦時資源資料	14	重要国防資源調査(第1回報告) 蔣政権ノ外貨獲得ニ利用セラレアル中南支ノ鉱産資源	昭和15年5月	興亜院
戦時資源資料	15	重要国防資源調査(第2回報告) 特ニ不足セル重要鉱産資源	昭和15年5月	興亜院
戦時資源資料	16	支那重要国防資源調査ニ関スル件	昭和14年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	17	主要物資単位当り所要原材料調	昭和12年12月	企画院調査部
戦時資源資料	18	[小型熔鋸建設ニ関スル方針並ニ経過ニ就テ]	昭和17年12月	
戦時資源資料	19	[北支那諸炭田炭質適性調査報告書]	昭和15年6月	渡部富安
戦時資源資料	20	北支蒙疆滿洲方面出張報告書	昭和18年5月	大東亜省総務局調査課大来技師
戦時資源資料	21	支那の石油	昭和16年1月	興亜院技術部
戦時資源資料	22	本邦製鉄業の支那資源依存度に関する資料	昭和18年4月	大東亜省総務局調査課
戦時資源資料	23	愛川村灌漑工事ニ関スル復命書	大正14年11月	清水本之助関東庁技師
戦時資源資料	24	蒙疆ニ於ケル華人経営炭礦一覽	昭和16年3月	興亜院蒙疆連絡部
戦時資源資料	25	黄渤海海地域国土計画要綱案	昭和18年3月	
戦時資源資料	26	山東省淄川博山礮土保留地区調査報告書	昭和15年6月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	27	北支渠別産地概要	[戦時期]	李家荘
戦時資源資料	28	北支炭山及其他鉱山概況	[戦時期]	
戦時資源資料	29	山西省太原	[戦時期]	
戦時資源資料	30	[会計メモ書き]	[戦時期]	
戦時資源資料	31	石綿	[戦時期]	
戦時資源資料	32	タングステン	[戦時期]	
戦時資源資料	33	鉄鉱	[戦時期]	
戦時資源資料	34	[出張旅費計算]	[戦時期]	
戦時資源資料	35	非鉄金属	[戦時期]	
戦時資源資料	36	金	[戦時期]	
戦時資源資料	37	北支那重要資源一覽図	[戦時期]	杉山部隊特務部調査班
戦時資源資料	38	北支那五省鉱山ノ概況	昭和12年5月	支那駐屯軍司令部
戦時資源資料	39	印度支那半島及馬來諸島の地勢地質	[戦時期]	富田芳郎
戦時資源資料	40	山西省管見	[戦時期]	清水本之助土木課長
戦時資源資料	41	大東亜南方圏内に於けるアルミニウム原産分布と水力資源	昭和17年7月	高橋本枝
戦時資源資料	42	アルミニウム工業南方立地ニ関スル意見	昭和17年6月	日本経済連盟会
戦時資源資料	43	支那港湾統制に關しての研究(下の二完)	昭和17年12月	田北隆美
戦時資源資料	44	新米穀取引市場案	昭和10年11月	
戦時資源資料	45	自大正元年一月至昭和十年六月月別大阪正米撰津赤三等仲値段表	昭和10年7月	
戦時資源資料	46	自大正元年一月至昭和十年六月月別深川正米平均相場表	[戦時期]	
戦時資源資料	47	ノールス炉ニヨル柳泉炭コークス化試験	昭和18年5月	帝国燃料興業株式会社
戦時資源資料	48	松川式直接製鋼法試験研究報告書	昭和16年10月	石産金属工業株式会社
戦時資源資料	49	THE HONGAY COAL MINES OF FRENCH INDO-CHINA	1936年10月	
戦時資源資料	50	北支主要炭田ノ炭質適性調査計画案	[戦時期]	満鉄・北支経済調査所
戦時資源資料	51		昭和14年8月	満鉄・北支経済調査所
戦時資源資料	52	北支炭田炭質適性調査報告書	昭和15年2月	地質班:堀内一雄、化学班:渡部富安
戦時資源資料	53	北支諸炭田炭質適性調査報告書	昭和15年6月26日	満鉄・北支経済調査所

宛 名	注 記 (摘要 形態)	形 態	数量	西暦
	陽泉炭鉱第1報	綴	1	1940
	表4枚、路線車道図1枚	表、地図	5	1941
	大同炭鉱 (侏羅紀層) 第1報	綴	1	1940
	極秘	綴	1	1941
	手書きで「1.百靈廟バインボット赤鉄鋼 2.安北烏石炭 3.連南西パヤンオボ螢石: 5千万屯」とあり	綴	1	1940
		綴	1	1941
	京都帝国大学便箋			
	日本鉄鋼協会 鉄と鋼 第29年 第2号	綴	1	1943
	日本鉄鋼協会 鉄と鋼 第29年 第1号	綴	1	1943
	モノクロ写真10点	綴	1	1939
	モノクロ写真6点	綴	1	1939
		綴	1	1941
	手書きで「鱈魚期8月-11月 重油水産用6万屯 (4万イワシ) (2万その他)	綴	1	
	手書き	綴		1939
	手書き 付録付	綴		1939
	タイプライター、手書きでの日本語あり	綴		1939
	手書き、日鉄鉱業株式会社便箋	綴	1	1943
	縦断面図1枚、地質図1枚、モノクロ写真8枚	綴	1	1940
		綴	1	1940
		綴	1	1942
	Lang-Son方面Bauxite分布図1枚、Dong-Dang附近Bauxite 鉱床実査図1枚、再検討指令書在在	綴、地図、指令書	4	1941
	附表19 (19表はイとロの2つ)	綴、表	21	1943
		綴	1	1941
		綴	1	1941
		綴	1	
		綴	1	1941
	フィリピン諸島満鉄分布図、内地及朝鮮主要満鉄鉱山位置図、マレージャヴァホルネオ及チモール主要満鉄鉱山位置図、満洲支那主要満鉄鉱山位置図、在中	綴、紙	5	1942
	本邦各製鉄地区年次別石灰石需給計画一覧表、本邦石灰石山分布図	綴、紙	3	1942
	日鉄鉱業株式会社用箋使用	綴	1	1943
		冊	1	[1942]
		冊	1	[1943]
		綴	1	1943
		綴	1	
		綴	1	1937
		綴	1	1942
	破損大	綴	1	1942
		綴	2	1943
		綴	1	1940
		綴・地図	3	
		綴	1	1939
		綴・図面	8	1943
	磁泉炭砒、大汶口炭砒、山西炭砒、焦作炭砒、中興炭砒	綴・袋	3	1941
	鉄鉱石、石炭、石灰	綴	1	1942
山崎調査役		綴	1	1944
		綴	1	1944

資料名	請求番号	タイトル	作成年月日	作成者
戦時資源資料	54	北支諸炭田炭質適性調査報告書	昭和15年8月	満鉄・北支経済調査所（化学班 井澤善次）
戦時資源資料	55	蒙疆鉄道、自動車関係表	昭和16年3月15日	興亜院蒙疆連絡部
戦時資源資料	56	北支諸炭田炭質適性調査	昭和15年11月	満鉄・北支経済調査所
戦時資源資料	58	昭和十六年度調査計画	昭和16年3月15日	興亜院蒙疆連絡部
戦時資源資料	59	昭和15年度調査実績	昭和15年12月10日	興亜院蒙疆連絡部
戦時資源資料	60	昭和16年度調査計量表	昭和16年1月25日	興亜院華北連絡部 政務局調査所
戦時資源資料	61	地形的乾燥地の利用	〔戦時期〕	
戦時資源資料	62	含ニッケル・クロム鉄鋼の処理に関する研究（II）クロム分離の研究	昭和18年2月25日	向山幹夫
戦時資源資料	63	含ニッケル・クロム鉄鋼の処理に関する研究（I）	昭和18年1月25日	向山幹夫
戦時資源資料	64	山東省新泰地方鉄、石炭、金調査報告書	昭和14年7月	日本製鉄株式会社 技師：田島六郎、同：渡部敏雄
戦時資源資料	65	山東省蒙陰地方調査報告書	昭和14年8月	日本製鉄株式会社 技師：渡部敏雄
戦時資源資料	66	興技4諮問第3号「自動車代用燃料対策に関する件」答申	昭和16年3月	興亜技術委員会第4部会
戦時資源資料	67	ヂーゼル機関燃料としての鱈油及びその加工品	〔戦時期〕	
戦時資源資料	68	第3章 金属及び雑鉱山銅及びウォルフラム鉱山	〔戦時期〕	
戦時資源資料	69	第6章 燃料	〔戦時期〕	
戦時資源資料	70	L'Industrie minerale&chimique de l'Indochine en 1939	〔戦時期〕	
戦時資源資料	71	昭和18年度鉱山別生産目標（生産第二課関係）案	昭和18年3月5日	鉱山統制会生産部
戦時資源資料	72	河北省曲陽県阜平県方面地質調査報告（第一報）	昭和15年12月	日本製鉄株式会社 技師：田島六郎
戦時資源資料	73	興亜院北支鉱物資源調査班服務規定	昭和15年9月	興亜院華北連絡部 経済第二局鉱山室
戦時資源資料	74	北支炭適性調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	75	Lang-Son県Bauxite調査中間報告	昭和16年12月31日	非鉄金属班 第一組
戦時資源資料	76	本邦製鉄業の支那資源依存度に関する資料	昭和18年4月	大東亜省総務局調査課
戦時資源資料	77	仏印清化県クローム鉱区資料	昭和16年3月	台湾拓殖株式会社
戦時資源資料	78	最近仏印資料日録（邦文の分）	昭和16年6月18日	外務省通商局第六課
戦時資源資料	79	第一仏領印度支那製鉄業概観	〔戦時期〕	台湾拓殖株式会社 印度支那室
戦時資源資料	80	南方未開拓地に入る場合の注意事項	昭和16年8月	南洋局仏印資源調査室
戦時資源資料	81	大東亜圏ニ於ケル製鉄原料需給計画（第二編満俺鉄編）	昭和17年8月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	82	本邦満俺鉄ノ需給ニ就テ	昭和17年3月	日鉄鉱業株式会社調査課
戦時資源資料	83	昭和十八年度基本鉱山及其ノ生産目標（生産第二課関係）	昭和18年5月	鉱山統制会生産部
戦時資源資料	84	塩基性転炉製鋼法（通称トーマス製鋼法）の開始に就て	〔昭和17年前後〕	今泉嘉一郎（日本鋼管株式会社、工学博士）
戦時資源資料	85	事業概要	昭和18年4月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	86	冬期減産防止対策	昭和18年7月	日本製鉄株式会社
戦時資源資料	87	鉄鋼製品配給統制に関する説明	〔戦時期〕	
戦時資源資料	88	主要物質単位当り所要原材料調	昭和12年12月27日	企画院調査部 資調第六号(1)
戦時資源資料	89	経済単位製鉄所設立に関する製鉄立地条件各因子の一参考資料	昭和17年8月	北支那開発株式会社 調査局
戦時資源資料	90	鉱業月報 第二巻 第八号	昭和17年11月	在張家口太
戦時資源資料	91	「ラウト」烏炭田調査報告、ボルネオ鉄鋼及石炭開発計画案	昭和18年3月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	92	北支硝石並土塩ノ予察概報	昭和15年7月	甲田調査班
戦時資源資料	93	北支炭大増産ニ対スル炭田調査計画（案）	〔戦時期〕	
戦時資源資料	94	弧山炭砒接収ニ関スル報告書	昭和14年2月	日本製鉄株式会社
戦時資源資料	95	小型熔鉱炉建設計画要綱	昭和18年4月	日本製鉄株式会社
戦時資源資料	96	昭和十六年度第一四半期鉄鋼需要量調査	昭和16年	
戦時資源資料	97	昭和十八年度生産見込表	昭和17年	
戦時資源資料	98	昭和十九年度生産目標数量（第一案）	昭和19年9月30日	審査室
戦時資源資料	99	昭和十八年度生産見込表	昭和19年1月15日	〔山崎調査役〕

宛 名	注 記 (摘要 形態)	形 態	数量	西暦
	資料簡報第二十八号 (経済第四号) 記載あり	綴	1	1941
	軍資秘		1	
	調査資料第105号 (経済第6号) 記載あり		1	1941
		綴	1	
	地図	綴、地図	7	
	計畫書・予算書含	綴、紙	4	1940
	華東炭鉱地層表 (100分の1):1号・2号・3号・4号・5号・6号・7号・8号・9号・10号・12号・13号;柳泉炭鉱地層表 (100分の1):1号・2号・3号・5号・6号・7号・8号・9号・10号・11号・12号・13号・14号・16号・17号・18号;柳泉炭鉱鉱山位置図;柳泉炭鉱試錐位置図 (5000分の1)	綴・表・地図	表2、 地図 26	1943
	手書きノートのコピー	綴	1	1942
		綴	1	
	自筆	綴	1	
	鉱山資料図 第1号 (10万分の1) 第2号 (1941年12月、5000分の1) 第4号 (1941年12月); 第5号 (1万分の1); 第7号 (5000分の1) 設計図 第3号 (1941年12月); 第6号 (1941年12月); 第8号 (1941年12月)	綴・設計図・地図	9	1941
	写真 (23)	綴、紙	1	1942
	地図 (8)	綴、地図	10	1941
	極秘 綴・地図 (3)	綴、地図	4	1940
	極秘 地図	紙、地図	1	1935
	極秘 地図 (5)	綴、地図	6	1940
	極秘 地図 (4)	綴、地図	5	1940
	綴	綴	1	1940
	地図 (10)	綴、地図	11	1940
		綴、紙	1	1940
北京軍特務部喜多誠一少将	桃科荘	綴・地図込	1	1938
		綴	1	1942
		綴	1	1942
	大正元年~昭和9年	綴	1	
		綴	1	1943
		綴・地図込	1	1941
	Tink-Tuc鉱山、Pia-Ouac鉱山、Lung-Muoi鉱山、Beau-Site鉱山	綴・地図	6	1942
		綴・地図	5	
		綴	1	1942
	ポーキサイト、クロム等	状	23	1942
	資源極秘第四四号	綴	1	1942
	綴 [2 (フランス語の綴含)]・地図 (7)	綴、地図	9	
	地図 (2)	綴、地図	2	
	自筆 (1939年作成) (1) 地図 (3) DAI-PHAT鉱山主要鉱床実測図 (1)	綴・地図・実測図	6	1941
	秘	綴	1	1941
	日本語での手書きのまとめ、手書き地図4枚	綴、表	3	1940
	仏印資源調査団の原稿用紙	状	3	
仏印資源調査団長 横山正幸	仏印資源調査団の原稿用紙	綴	1	

資料名	請求番号	タイトル	作成年月日	作成者
戦時資源資料	100	山東省沂水県桃花潤荘ノ銅鉱王庄ノ鉛鉱、及銅井ノ鉄鉱調査概報	昭和16年2月10日	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	101	朝鮮理研金属株式会社鎮南浦工場概要	[戦時期]	
戦時資源資料	102	江蘇省銅山縣柳泉炭田調査概要	昭和16年2月10日	興亜院華北連絡部 政務局調査所
戦時資源資料	103	本邦石炭分拆表	[戦時期]	山崎
戦時資源資料	104	朝鮮渡辺鑛工株式会社無煙炭高炉調査報告	康德10年2月7日	昭和製鋼所技師堤英三郎
戦時資源資料	105	山東事業計畫書	昭和15年10月	華北礬業工業股份有限公司
戦時資源資料	106	柳泉炭鉱業所概要	昭和18年1月20日	非鉄金属班第1組：永瀨正叙・日野間吉夫・野田眞三郎
戦時資源資料	107	ラオス国シエンクワン地方バヤ銅鉱床調査報告	昭和17年2月25日	
戦時資源資料	108	地質調査所事業概要	[戦時期]	
戦時資源資料	109	Boneng Neng 鉱山Loas ;Nong Sun 鉱山Laos	[戦時期]	
戦時資源資料	110	Laos,Nam PhaTene地方所在鉱山調査報告書(写真)	昭和17年2月26日	仏印資源調査団非鉄金属班第三組(団員：前田善春、上田潤一、松田巖；助手：川崎節夫、平野三郎)
戦時資源資料	111	ラオス国シエンクワン地方バヤ銅鉱床調査報告	昭和17年2月25日	非鉄金属班第一組(永瀨正叙、日野間吉夫、野田眞三郎)
戦時資源資料	112	沂州炭田調査報告(2枚)	昭和16年1月	興亜院囑託三井鉱山株式会社(田代修一、古川孫一、松野元次)
戦時資源資料	113	北支諸炭田質適性調査 大同炭田石炭紀石炭第一報	昭和15年2月	地質班 化学班
戦時資源資料	114	昭和18年度鉱物資源調査計画図	昭和10年	華中鉱業股份有限公司調査部
戦時資源資料	115	北支那諸炭田質適性調査井陘、正豊炭第二報	昭和15年6月	満鉄・北支経済調査所
戦時資源資料	116	北支那諸炭田質適性調査報告書井陘炭第一報	昭和15年2月15日	地質班(堀内一雄) 化学班(渡部富安)
戦時資源資料	117	井陘炭鉱概況	昭和15年10月	不明
戦時資源資料	119	山東省牟平金山調査報告	昭和15年5月18日	三菱工業株式会社・鬼怒川興業株式会社調査団
戦時資源資料	120	山東省安邱縣擔山銀鉛鉱山調査報告	昭和15年12月	興亜院囑託(田代修一、松野元次)
戦時資源資料	121	山東省歷城県ニッケル銅鉱山開発ニ関スル件	昭和13年5月	古河電気工業株式会社
戦時資源資料	122	河南省六河溝炭硯現況調査	昭和17年5月	北支開発株式会社調査局
戦時資源資料	123	河南省焦作溝炭硯現況調査	昭和17年5月	北支開発株式会社調査局
戦時資源資料	124	綿糸格付清算取引売買高及売買金額表	[戦時期]	
戦時資源資料	125	利国鉱山現況調査報告書	昭和18年1月	日本鋼管株式会社
戦時資源資料	126	Dong Trieu県LoSon及附近Bauxite調査中間報告	昭和16年11月	仏印資源調査団非鉄金属班第一組
戦時資源資料	127	Tonkin Pia-Ouac地方所在鉱山調査報告書	昭和17年2月	仏印資源調査団非鉄金属班第三組
戦時資源資料	128	Quang-Yen製鉄所並ニChodien鉱山調査報告書	[戦時期]	仏印資源調査団非鉄金属班
戦時資源資料	129	仏印Tonkin州Dong-Trieu県Lo-Son及附近産Bouxiteノ分析結果ニ依ル再検討	昭和17年7月	仏印資源調査団非鉄金属班第一組
戦時資源資料	130	仏印資源調査報告	昭和17年2月	仏印資源調査団、台湾拓殖株式会社
戦時資源資料	131	「サロン」(Xa Loung) 亜鉛鉱区調査概報達達1件	昭和17年3月10日	非鉄金属班第一組
戦時資源資料	132	サロンミッター氏鉱区調査報告書	[戦時期]	不明
戦時資源資料	133	Cam Duong (Ton Kin) 燐酸鉛脈(燐灰石)、地質学的研究及鉛脈所在地地質構成	[戦時期]	
戦時資源資料	134	DONG JLIEU県LOSON及付近BAUXITE調査中間報告	昭和16年11月30日	仏印資源調査団 非鉄金属班 第一組
戦時資源資料	135	仏領印度支那洲諒山県ドンダン村附近ドラゴン、シュバルル其他に炭区赤土型ポートサイト鉱床調査報告書	昭和16年11月20日	石原産業海運株式会社佛印派遣員 齊藤立夫
戦時資源資料	136	Service de la Production & du Revêtement Industriels Service des Mines	[戦時期]	Government Central de l'Indochine, Insprotion Generale des Mines et l'Industrie
戦時資源資料	137	鉱業第二班(非鉄金属)	[戦時期]	
戦時資源資料	138	仏印ローソン地方ボーキサイト鉱床開発指導報告ニ関スル件	[戦時期]	日本軽金属 広川稔

宛 名	注 記 (摘要 形態)	形 態	数量	西暦
	仏印資源調査団の原稿用紙	綴	1	
	仏印ポーキサイト鉱床概要付	綴	1	
	仏印資源調査団の原稿用紙	綴	1	
		綴	1	1941
		綴	1	
		綴	1	1941
	久慈製鉄所平面図付	綴・地図	2	1943
				1943
		綴	1	1942
	河北省灤県司家営鉄山一帯地質図	冊、紙	2	1939
		冊	1	1941
	東南ボルネオニ於ケル現地製鉄趣意書、溶鉱炉ノ形状ト内容積及出銑量	冊、紙	3	1942
		綴	1	1943
	自昭和15年1月1日から至昭和15年6月30日	綴	1	
	附炭層断面図	綴	1	1940
興亜院華北連絡部 山崎技師		綴	1	1940
	極秘	綴	1	1941
		綴・表	2	1941
	資料第42号 附図井陘炭鉱全体図	綴・地図	2	1940
村田耕		綴	1	1940
	昭和17興青鉱業月報第6号	綴	1	1942
	極秘	綴	1	1942
	自昭和16年度至昭和20年度	綴	1	
	極秘	綴	1	1940
	極秘 経済第2局鉱山室	綴	1	1940
	秘 地図 (2) 標本 (3)	綴・地図	3	1934
	秘 (188)	綴	1	1942
	秘	綴	1	1939
	資料乙第31号C 地図 (1)	綴・地図	2	1941
		綴	1	1940
		綴	1	1940
		綴	1	1942
蘭印、オランダなどほかに記載あり		綴、紙	1	戦時期
		綴、紙	1	1942
		綴、紙	1	1940
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
		綴	1	1942
	地図 (3)	綴・地図	5	
	地図 (2)	綴・地図	3	
	地図 (1)	綴・地図	2	

資料名	請求番号	タイトル	作成年月日	作成者
戦時資源資料	139	概説	[戦時期]	
戦時資源資料	140	印度支那産業会社概要	[戦時期]	
戦時資源資料	141	本調査ヲ行フ前ニ次ノ地域ヲ視察致シ度ニツキ便宜供与方ヲ乞フ	[戦時期]	
戦時資源資料	142	泰国錫鉱業近況ニ就テノ一考察	昭和16年8月	調査部石原近治
戦時資源資料	143	Quang-Yen亜鉛工場	[戦時期]	
戦時資源資料	144	Comptant	1941年10月	Mission Economique du Japon
戦時資源資料	145	指定砂鉱区名簿	昭和18年7月	
戦時資源資料	146	東北地方砂鉄緊急増産ニ関スル調査	昭和18年9月	
戦時資源資料	147	製鉄原料需給計画 第3編 石灰石編	昭和17年6月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	148	瀧尾司家営鉄山附近ノ地磁気異常ニ関スル調査	昭和14年3月	華北産業科学研究所
戦時資源資料	149	司家営鉄山調査報告書	昭和16年	田島六郎(技師)、水野邦夫(測量係り)
戦時資源資料	150	東南ボルネオニ於ケル製鉄計画	昭和17年9月	石原産業海運株式会社
戦時資源資料	151	ノールス炉ニヨル柳炭炭低温乾溜試験	昭和18年5月	帝国燃料興行株式会社
戦時資源資料	152	第五期営業報告書	[戦時期]	天津日本租界秋山街14番地 長城炭鉄鉄道株式会社
戦時資源資料	153	柳江炭鉱概況	昭和15年9月	日支炭鉄汽船株式会社 柳江炭鉱
戦時資源資料	154	柳江炭鉱概況	昭和15年9月12日	柳江炭鉱長 石田久友
戦時資源資料	155	北支蒙疆炭工業分析表	昭和16年1月	
戦時資源資料	156	開発関係 北支各炭鉱現設備並16年度計画一覧表	昭和16年3月	北支那開発株式会社 調査局
戦時資源資料	157	井陘炭鉱概要	昭和15年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	158	開灤然炭鉱調査	昭和15年12月	満鉄北支経済調査所
戦時資源資料	159	鉱業月報(9月分)	昭和17年10月	興亜院華北連絡部青島出張所
戦時資源資料	160	鉱業月報(第15号)	昭和17年10月	大東亜省総務局調査課
戦時資源資料	161	出炭計画概要	[戦時期]	六河溝炭鉱
戦時資源資料	162	井陘炭鉱災害報告書	昭和15年3月30日	興亜院技師 山口六平 興亜院技手 手島精輝
戦時資源資料	163	軒崗鎮炭鉱災害調査報告書	昭和15年11月25日	興亜院華北連絡部技手 手島精輝
戦時資源資料	164	熱河省建平県黒水付近における銷土の調査報告書	昭和9年8月	計画部 岡本栄 渡来巽
戦時資源資料	165	調査概報第3号河南省武安県磁山及鉱山鉄鉱地質調査概報	昭和17年11月	北支那開発株式会社 調査局
戦時資源資料	166	密雲県金鉱山調査報告	昭和14年6月10日	鉱山班 山口技師
戦時資源資料	167	支那における錫の生産と流動	昭和16年3月	東亜研究所
戦時資源資料	168	長城炭礦所見	昭和15年2月18日	囑託吉川岩喜
戦時資源資料	169	日支炭鉄汽船株式会社柳江炭鉱概況	昭和15年9月	
戦時資源資料	170	華北及び蒙疆に於ける諸炭田ノ炭量ニビニ炭質表	昭和17年3月	北支那開発株式会社調査局 第一調査室
戦時資源資料	171	[アジア各地資源調査資料]	[戦時期]	在仏印資源調査団
戦時資源資料	172	サロン、ミッター氏亜鉛鉱区調査報告書	昭和17年2月	仏印資源調査団非鉄金属班
戦時資源資料	173	華中工業股份有限公司設立ノ由来ト其ノ目的	昭和15年1月14日	
戦時資源資料	174	北支炭適性調査 其ノ五 磁県炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	175	北支炭適性調査 其ノ六 河溝炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	176	北支炭適性調査 其ノ四 正豊炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	177	北支炭適性調査 其ノ二 開灤炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	178	北支炭適性調査 其ノ三 井陘炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	179	北支炭適性調査 其ノ七 柳炭炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	180	北支炭適性調査 其ノ九 華豊炭分析調査	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	181	北支炭適性調査 其ノ八中興炭分析表	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	182	北支炭適性調査 其ノ十一新泰炭分析表	昭和17年10月	興亜院華北連絡部
戦時資源資料	183	山東省業蕪炭鉱現況調査	昭和17年6月13日	北支那開発株式会社 調査局
戦時資源資料	184	山東省坊子炭鉱現況調査	昭和17年7月21日	北支那開発株式会社 調査局
戦時資源資料	185	濠洲の鉄鉱について 濠洲の銅鉱について	[戦時期]	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	186	ブローケンヒル鉱山について	[戦時期]	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	187	濠洲における金鉱について	[戦時期]	日本鉱業株式会社

宛 名	注 記 (摘要 形態)	形 態	数量	西暦
	地図 (1)	綴・地図	2	
	地図 (1)	綴・地図	2	
	地図 (1)	綴・地図	2	
	秘	綴	1	1942
	地図 (75)	綴、地図	76	
	資料第一四七号記載あり	綴	1	1944
	地図 (10)	綴、地図	11	1940
		綴	1	1923
		綴	1	1943
	海協会資料第一三七号記載あり	綴	1	1944
	資料第一四一号記載あり	綴	1	1944
		綴	1	
		綴	1	1940
	綴 [1・図面の綴 (M.C.K復旧作業計画書に添付)]・図 (1)	綴	3	
		綴	1	
	From the Proceedongs of the Imperial Academy VI (1930) , No.8	綴	1	1930
	富家灘地方石炭調査報告書 附図9枚	綴	1	1940
	図面	図	1	1943
	選鋼日報1枚、日報1枚 (手書き記入)	綴	3	1943
	図面18枚	図	28	
	タングステン並びにアンチモニー生産並流動略図	綴、図	2	1940
	雲南の地質図4枚	綴、図	5	1943
	地図5枚含	綴・地図・袋	7	1939
		綴	1	1940
		綴	1	1940
		綴	1	1943
	地図5枚含	綴・地図	6	1939
		綴	3	1942
	地図含	綴・地図	2	1942
	地図3枚含	状・地図	4	
	縮尺1000分の1	地図	1	1939
		地図	1	1938
		綴・地図	3	1942
	極秘	綴	1	
	極秘 地図 (7)	綴・地図	8	
	極秘 図表 (10) 地図 (4)	地図・図表	14	
	極秘 地図 (7)	綴・地図	8	1942
		綴・紙	3	
	中興炭鋳股份有限公司、焦作炭鋳業所、山西炭鋳股份有限公司、山西産業(株)西山採炭所、軒崗鎮採炭所、井径炭鋳股份有限公司の事業計画書、事業費予算書	綴	1	1943
		綴	1	1943
		綴	1	1943
		綴	1	
		綴	1	1940
	仏印資源調査団の原稿用紙、143と同封	綴	1	
	143と同封	綴	2	1941
	143と同封	綴	1	1941
	仏印資源調査団の原稿用紙、143と同封	綴	1	
	143と同封	綴	1	1941
	143と同封	綴	2	
	地図5枚含	綴・地図	6	1940

資料名	請求番号	タイトル	作成年月日	作成者
戦時資源資料	188	ケーンズを中心とする買鉱案について	[戦時期]	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	189	マウント、イサ鉛、亜鉛鉱山について	[戦時期]	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	190	タスマニア島における鉱山について	[戦時期]	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	191	オーストラリアの鉱産資源	昭和17年8月	三菱工業株式会社
戦時資源資料	192	小型熔鉱炉設計図面	[戦時期]	不明
戦時資源資料	193	ジャワの銅鉱	昭和19年	社団法人海外鉱業協会
戦時資源資料	194	山東省牟平金山調査報告	昭和15年5月18日	三菱鉱業株式会社・鬼怒川興業株式会社調査団
戦時資源資料	195	雲母に付て	昭和8年2月	興亜技術部
戦時資源資料	196	含ニッケルクロム鉄鉱ト之が処置二関スル基本方針ヘノ参考	昭和18年1月	向山囑託
戦時資源資料	197	東印度諸島鉱産資源開発の将来性に就て	昭和19年2月	社団法人海外鉱業協会
戦時資源資料	198	セラベスの鉱産資源	昭和19年6月	社団法人海外鉱業協会
戦時資源資料	199	鉱業資源開発上より見たる南方地区の特異性	[戦時期]	海外鉱業協会理事長金子恭輔
戦時資源資料	200	山西省潞安地区五陽村、黄碾鎮炭田調査報告	昭和15年8月	山西省陸軍特務機関地下資源調査隊満鉄班
戦時資源資料	201	馬家溝坑復舊計画概要	[戦時期]	開瀾炭鉱
戦時資源資料	202	応用植物学の意義を欧米に於ける現状	[戦時期]	小原亀太郎
戦時資源資料	203	Geological History of the Island of Taiwan (Formosa)	[戦時期]	Hisakatsu Yabe, Shoshiro Hanzawa
戦時資源資料	204	山西省地下資源調査報告 富家灘地方炭鉄調査報告書	昭和15年4月	山西省陸軍特務機関
戦時資源資料	205	掘削機図面	昭和18年10月5日	関東鉄工株式会社
戦時資源資料	206	鉱山及製錬所現状報告	昭和18年1月15日	日本鋼管株式会社金嶺鎮鉱山事務所
戦時資源資料	207	新設大型回転乾燥炉機械図面一式	[戦時期]	鉄鋼業株式会社 俱知安鉱業所
戦時資源資料	208	支那に於けるアンチモニーの生産と流動 質量乙第23号C	昭和15年9月	東亜研究所
戦時資源資料	209	雲南の銅鉱資源	昭和18年2月	三菱鉱業株式会社調査部
戦時資源資料	210	山東省招遠鉱山調査報告	昭和14年12月	三菱工業株式会社調査団
戦時資源資料	211	牟平金山調査概報(其ノ一)	昭和15年5月	鬼怒川三菱共同調査団
戦時資源資料	212	山東省沂水砂金鉱調査報告	昭和14年10月	三菱鉱業調査団
戦時資源資料	213	比島シイク・マラパタン・ブランドガ満滝山起業計画案	昭和18年6月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	214	鎮南浦製錬所概要	昭和14年10月	日本鉱業株式会社
戦時資源資料	215	陽泉鉄廠概況・太原鉄廠分析	昭和17年12月	
戦時資源資料	216	スリガオ鉄鋼山措置対策	昭和17年4月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	217	司家宮鉄山	[戦時期]	
戦時資源資料	218	安徽省繁昌県桃冲鉄山鉱床図	昭和14年8月	華中鉱業股份有限公司調査部
戦時資源資料	219	煙筒山鉄山地質図	昭和13年	内藤匡
戦時資源資料	220	龍烟鉄鋼概要	昭和17年	龍烟鉄鋼株式会社
戦時資源資料	221	龍烟鉄鋼株式会社稼行鉱区たる察南地区龍関県、龍家堡鉄鉱床調査報告書	[戦時期]	龍烟鉄鋼株式会社
戦時資源資料	222	蒙疆烏蘭察布盟バイン・ボクド鉄鉱床調査報告	[戦時期]	北支那開発株式会社
戦時資源資料	223	日満支及南洋方面地図・図表	[戦時期]	日鉄鉱業株式会社技術部
戦時資源資料	224	大東亜圏における製鉄原料需給計画 第1編 鉄鉱石編	昭和17年5月	日鉄鉱業株式会社
戦時資源資料	225	INDUSTRIES CHIMIQUES ET ASSIMILES	戦時期	
戦時資源資料	226	北支炭鉱事業計画書、北支炭鉱事業費予算書	昭和18年	[北支各炭鉱]
戦時資源資料	227	支那鉱産資源生産状況一覧	昭和18年3月	山崎技師
戦時資源資料	228	十八年度生産計画	昭和18年8月1日	日鉄鉱業
戦時資源資料	229	地質調査所事業実績ノ概要	[戦時期]	
戦時資源資料	230	門頭溝附近ニ於ケル石灰	昭和15年12月12日	日産化学工業株式会社外地開発部
戦時資源資料	231	鉱業第二班燃料所要量内記明細書	[戦時期]	
戦時資源資料	232	仏印資源調査団名簿	昭和16年9月	
戦時資源資料	233	仏印資源調査計画要綱	昭和16年10月	仏印資源調査団
戦時資源資料	234	非鉄金属班TuLe (Armonque鉱山) 錫調査	[戦時期]	
戦時資源資料	235	田崎成和履歴書	昭和16年11月	
戦時資源資料	236	仏印資源調査団鉱業第二班調査項目	[戦時期]	
戦時資源資料	237	中興炭硯附近調査報告	昭和15年12月	興亜院囑託三井鉱山社員